

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
1	ごみ減量について	ごみ袋を値上げしないとごみ減量ができないのか。	長久手市では、これまでプラスチック製容器包装の分別収集などごみ減量に努めてまいりましたが、十分なごみ減量が進んでいるとは言えない現状です。そこで、ごみ減量と資源化推進のための施策として、県内の自治体でも進んでいるもえるごみ袋の値上げに至りました。
2	ごみ減量について	既に分別をきちんと行っている市民は、資源の分別を徹底してもごみの減量につながらないと思う。	いつも分別にご協力いただきありがとうございます。市が行っているごみの組成調査では、ごみの中に含まれる資源の割合を調査していますが、もえるごみ袋の中には34.3%もの資源がごみとして排出されていることから、しっかりと分別していただくことでごみ減量につながると考えています。
3	ごみの減量について	値上げの目的は、ごみ処理施設の建て替えに充てることも考えているのではないのか。	今回の増額の主目的は、ごみの減量です。確かにごみが多ければ、処理施設の負担が増え老朽化が進み、補修工事に多くの費用が掛かってしまいます。ごみを減量できれば施設の延命化に繋がりますが、今後施設の建て替えを行うことはいずれにしても必要なことです。現在も施設の建て替えのために、指定袋の手数料ではなく税金で費用の積み立てを行っていることから、もえるごみ袋を値上げしたことで発生した増収分を施設の建て替えの費用に充てることは考えておらず、ごみ・資源の回収に係る施策に充てたいと考えています。
4	ごみ減量について	他の施策の使っている予算を、ごみ減量施策に充てることはできないのか。	今回の増額は、ごみ減量施策の予算確保が目的ではなく、もえるごみ袋のみ値段を上げ、プラスチック製容器包装（資源）の値段を据え置きとすることで、市民の皆様分別意識を高めさせていただき、継続的にごみを減量していただくことを目的としています。値上げによって市の収入についても増加が見込まれるため、増収分に関してはごみ減量施策に充て市民の皆様へ還元したいと考えています。
5	ごみ減量について	市民の意識を別の方法で高められないか。方法は増額しかないのか。市民教育をしてから期限を決め、減らなかつたら増額という手順が良いのではないのか。	これまで行ってきた啓発活動やごみ減量の施策のほか、近年では各小学校区でごみ減量に関する説明会を実施し、晴丘センター延命化に伴うごみ減量のお願いを記したチラシを全戸配布するなど広報も複数行ってきましたが、ごみが減量しないという状況から環境省からもごみ減量や資源分別の促進に効果があるとされている1つの取り組みとして今回もえるごみ袋の増額を検討し始めました。市としても増額のみでごみ減量を行っていくのではなく、今後も新たな減量施策を実施し併せて取り組んでいきたいと考えています。
6	ごみ減量について	もえるごみを減らしていきたいなら、もえるごみの多くの割合を占める生ごみを減らしていくアプローチを考えていくべきではないか。	ご意見として参考にさせていただきます。ごみの減量は、分別によって減らす方法と、ごみの発生自体を減らしていく方法の2種類がありますが両方を実施していかなければ減量化はできないと考えています。生ごみに関しては、発生抑制による減量を行っていくことを考えており、現在も生ごみ処理機の助成金や食品ロス削減のための広報を行っていますが、今後も効果的な方策を検討し実施していきたいと考えています。
7	ごみの減量について	生ごみ処理機の補助金の額を上げれば、さらに普及するのではないのか。	ご意見として参考にさせていただきます。
8	ごみの減量について	生ごみ処理機の対象品目を拡大できれば、さらに普及するのではないのか。	生ごみ発生抑制のため検討させていただきます。

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
9	ごみの減量について	ディスポーザー型の生ごみ処理機は、生ごみの減量に相当な効果があると思うが、補助の対象にならないか。	ディスポーザー型の生ごみ処理機ですが、ごみを粉碎し下水道に流すものが多いため、下水管内の負担にならないもののみが対象になります。公益財団法人日本下水道協会の定める認証を平成25年以降に受けている製品で、かつ長久手市下水道課のディスポーザ排水処理システム設置計画承認申請の承認を受けているものが補助の対象になります。（対象製品は日本下水道協会のホームページから確認できます。）
10	ごみ減量について	生ごみ処理機で出来た堆肥は、捨ててしまうのではなく公共施設に提供する仕組みを作るなど行き先を定め、利用できるが良い。	生ごみ処理機から発生した堆肥についてマンションに住んでいる方や自家消費できない方に向けて公園や公共施設の花壇で使用するなど行き場を考えていく必要がありますが、堆肥は年中使用するものではなく、必要数も限度があるため関係部署と相談し検討してまいります。
11	ごみ減量について	騒音にならない場所に剪定枝をチップ化できる機械を設置し、できたチップを防草材として蒔けば一挙両得ではないか。	ご意見として参考にさせていただきます。
12	ごみの減量について	ごみを持ち込むとポイントが付与され、ごみ袋がもらえるような還元の仕組みがあれば市も市民も両得になり楽しくごみ減量ができるのではないか。	ご意見として参考にさせていただきます。
13	増額の値段設定について	値段を3倍にあげる理由は何か。	全国で可燃ごみ袋の値上げを実施した自治体のごみをどれだけ減量できたかをごみ袋の価格帯ごとに調査した研究と県内市町村の実績に基づき、もえるごみ袋Lサイズを1枚50円にすることで長久手市が目標としている15%以上のごみ減量効果が期待できるからです。目標を達成するために他の新たなごみ減量施策と合わせて実施していきたいと考えています。
14	増額の値段設定について	長久手市は大学生も多いが、学生にとって3倍という値段は高いと思う。	ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。
15	増額による負担増について	もえるごみ袋の増額により、袋の値段が倍以上になり市民への負担が大きくなるがどのように考えているか。	これまでは、ごみ袋の価格が比較的安価だったため、ごみ量の多い人も少ない人も負担の大きさを実感することはありませんでしたが、増額することで、ごみを多く出す人の負担は大きく、ごみ減量に努力した人の負担は小さくなり、負担の公平性が図られます。また増収分でごみ収集サービスの拡充に充てることのできるため、市民へ還元できると考えています。
16	増額による負担増について	低所得者の人の大きな負担になってしまったため、値上げには反対である。配慮はないのか。ごみを減らすこと自体は地球温暖化のこともあるので賛成。	ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。
17	段階的な引き上げについて	もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。	段階的に料金を引き上げる方法もありますが、段階的に上げるために当初の料金を低く設定すると、ごみの抑制効果が薄れる可能性もあり、ごみの減量効果を見込める水準まで料金を引き上げる必要があることから、段階的な引き上げは考えていません。

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
18	手数料収入の用途	増額による収入は、何に使う予定なのか。	値上げによる増収分から、資源の回収頻度の増加や、ごみ収集車両の増台などごみ収集サービスの拡充に充てる予定です。
19	ごみ袋の仕様について	もえるごみ袋のLサイズが45リットルの市町村もあるが、長久手市は45リットルにしないのか。	現在の長久手市のもえるごみ袋Lサイズの大きさは34リットルですが、45リットルに大きくすると、それだけごみを多く入れることができ、ごみ減量には逆効果となるため、袋のサイズを大きくする考えはありません。
20	ごみ袋の仕様について	もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないかと。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。	ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのもの（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのもの（高密度ポリエチレン）があります。伸びやすいタイプのもものは重量のあるものだと伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのもものは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ（高密度ポリエチレン）のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。
21	資源化について	プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はどうしたら良いか。	プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取り切れないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。
22	資源化について	プラスチック製容器包装は、どのように処理されているか教えてほしい。	回収されたプラスチック製容器包装は、中間処理及び保管業務を委託している市内の事業所に運び込まれ、異物除去や圧縮梱包を行い、再商品化事業者へ引き渡し、国内において再生利用されています。現在は、フォークリフトなどで物を運ぶ時の荷台（パレット）や、車両等の段差解消ブロックに再商品化されています。
23	資源化について	プラスチック製容器包装を分別しても、リサイクルされず、晴丘センターに行って燃やされているという噂は本当か。	明らかな残飯等、本来プラスチック製容器包装の袋に入れていけないものは選別し晴丘センターで処理しますが、それ以外の物は汚れが多少ついてあっても再商品化されます。
24	資源化について	資源回収奨励金廃止の理由は「分別意識を高めることを目的としていた奨励金であったが、一定の理解を得ることができたため廃止した」と聞いている。今回は増額によって分別意識を高めてほしいとのことだが、奨励金の無くなった理由と反するのではないかと。	現在は、もえるごみ袋への混入割合の高いプラスチック製容器包装や雑がみ等の資源を分別していただき、ごみ減量に繋げるためにもえるごみ袋の増額を検討していますが、地域団体で資源回収を行っていただいているダンボール・雑誌・かん等に関しては、組成調査の結果からも混入割合が低く、行政回収も開始しているため、分別が浸透し資源と認識されるようになった分別品目であると考えています。また近年は、団体で集めて分別作業を行う形態から回収を依頼された業者が各ご家庭の前から回収する形態に変わった団体が多いという経緯もあり奨励金を廃止しました。
25	資源化について	プラスチック製品とプラスチック製容器包装の違いがわかりにくい。一緒に回収できないか。	令和4年4月にプラスチック製品の一括回収を促す趣旨の法律が施行されるため今後は一緒に回収できるよう検討していく必要があります。長久手市でも実施できるようリサイクルルートを探しており、それが整備され次第、実施していきたいと考えています。

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
26	ごみの収集について	収集車の増台や資源の回収頻度を増やすことは二酸化炭素排出や人件費の増加に繋がるのではないかと。本当に必要なことなのか。	収集時間が遅いというご意見を市民の方からいただいており、環境課としても地域によって回収時間に幅があることは課題として認識しています。ごみ袋の増額が実施されれば、増収分の収入が見込まれ、ごみに関するサービス向上の取組として収集車を増台し回収時間を短縮する施策が実施できるため検討しています。 資源回収の頻度に関しましても現在は回収導入前に行ったプラスチック製容器包装の適正な回収頻度を調査した結果に基づき隔週で回収を行っていますが、現在も回収頻度の増加を希望があること、増額による分別意識の向上が見込まれることから、より市民の皆様が資源を出しやすい環境作りの一つとして回収頻度の増加を検討しています。 ご指摘の通り収集車を増台すれば二酸化炭素の発生や人件費が増えますので、その点も考慮し調整していきたいと考えています。
27	ごみの収集について	プラスチック製容器包装は2週間も置いておくと臭いが発生するため、回収頻度を増やしてくれると嬉しい。	市としても資源を出しやすくするための施策として検討していきたいと考えています。
28	ごみの減量が困難なものについて	減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。
29	ごみ減量について	剪定くず専用の袋があると良い。	剪定くずに関しては減量の難しいごみと認識しています。ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
30	ごみの減量が困難なものについて	減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
31	支援の有無について	生活保護世帯・低所得世帯への支援はあるのか。	ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。
32	不法投棄について	増額すると不法投棄が増えるのではないのか。	先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っています。
33	不法投棄について	これまで不法投棄されているごみは拾って、自身で購入したごみ袋に入れて出していたが、今後お金を払ってまでごみを拾う気持ちになれなくなる。	不法投棄を拾った場合、環境課窓口で無料でお渡ししている地域清掃ごみ袋を使用して、ごみを出して下さい。

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
34	不法投棄について	公園でよくポイ捨てをされているが、拾った場合も分別する必要があるか。	地域清掃で拾っていただいたごみは、もえるごみかもえないごみに分別していただけると幸いです。地域清掃で使われるごみ袋に関しましては環境課で無料配布しています。
35	不法投棄について	小中学生に対してごみ減量に関する出前講座を行っているというが、公園で子供が食べたお菓子のごみが散乱している。そのような細かい内容を突いた出前講座を行ってほしい。	ご意見として参考にさせていただきます。
36	広報の方法	ごみ減量に関する広報が弱いのではないか。	広報の方法については、市としても課題であると考えています。広報紙・ホームページの他にさんあ〜る（ごみ出し支援アプリ）での啓発や、ごみ出し方法を記載したガイドブックを全戸配布、各地域へ出前講座に伺うなど複数の方法で広報していますが、今後もより多くの方に伝える方法を検討していきます。
37	広報の方法	行政として地域に対して、ごみに関する勉強会を実施してほしい。カラス被害や分別の詳細についても正しいことが何かわからない。	現在も5人以上の集まりに対して、ごみに関する出前講座を実施していますので是非ご利用ください。
38	広報の方法	行事の集まりの場に行き継続的に、ごみの講座を実施できると良い。	現在も5人以上の集まりに対して、ごみに関する出前講座を実施していますので是非ご利用ください。
39	広報の方法	子供に対してはこれまで何か取り組んできたのか。	今までも依頼があれば学校を訪問し、ごみに関する講座を行っており、今年度は小中学校の児童生徒を対象に給食の時間を使ってごみ減量出前講座をライブ形式で各校3回シリーズ実施しています。子供にごみ減量の大切さを伝えるだけでなく、子供からお家の人に伝えてもらうことでさらなる波及効果を期待しています。
40	ごみの増加について	ごみの増加はパック詰や包装が過剰になっている企業に問題があるのではないか。行政として企業にも働きかけていくべきではないか。	ご意見として参考にさせていただきます。包装の多くは分別できるもののため、いかに分別していただけるかが重要であると考えています。企業は買う人の趣旨趣向に合わせ売れるように作られているため買う側の意識の変化も必要であると感じています。県内の企業に関しましては、愛知県によってプラスチック削減についてのセミナーを行う等の方法で啓発を実施しております。市としては今年度、事業者に関しては市独自で組成調査を行い実態の把握後、具体的な取り組みを検討していく予定です。

地域意見交換会の主な意見（市が洞小校区）

No.	分類	内容	回答
41	ごみの増加について	<p>ジブリパークのごみはどこにいくのか。 市民が努力して減量しても、大きな施設ができるとごみが大幅に増えるのではないか。</p>	<p>ジブリパークの開園にあたり晴丘センターで処理するごみを極力減量するようお願いしています。ジブリパークのごみは事業系の一般廃棄物と産業廃棄物に分かれますが、晴丘センターに行くのは生ごみ・木くず等の一般廃棄物です。レストラン等の食品は食品ロスにならない様に食品リサイクル（肥料や動物の餌、バイオマス発電の燃料にする。）を促す、スプーンやフォークなどは記念品として持って帰れるようなデザインするなど提案させていただき、ジブリパークの方も前向きに検討していただけると聞いています。</p>
42	ごみの散乱について	<p>カラスや動物によるごみの散乱を無くすためにはネットボックスに補助を出すことが良いのではないか。ネットボックスは散乱被害を防ぐことができるが値段が高い。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。長久手市は、ご自宅前が収集ルートの場合は戸別回収を行っているため、各ご家庭でごみの散乱等の対策をしていただくようお願いしています。現在は、5世帯以上でまとめて出される方に対してはカラス除けネットを貸与させていただいていますが、散乱被害防止のためにもより良い方法を前向きに検討してまいります。</p>